

長期ステロイド使用後に手症状を中心に治療した高齢成人アトピーの経過 (65 歳)

症例 ID：001-60-AK | 記録日：2014 年 7 月 25 日

1. 診断・治療前経過

42 歳時、左肩に小さな湿疹が 2～3 個できたことがアトピーの始まりでした。市販薬で一旦落ち着いても再び出ることを繰り返し、徐々に悪化しているように感じて皮膚科を受診しました。

その後、国立病院、個人病院、海外の病院まで数多く受診しましたが、いずれもステロイド剤を処方されました。全身に広がった症状に対して、妻に手伝ってもらいながら朝晩ステロイド軟膏を全身に塗る生活を 10 年間続けました。52 歳時に別医療機関でステロイド中止を指示され、約 1 年半の強いリバウンドを経て体内からステロイドを抜いた経過があります。その後 12 年ほど症状は限定的でしたが、前年初秋から両手のひらと甲に症状が出て悪化し、2014 年 5 月 20 日に松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	42 歳以降、複数の医療機関でステロイド剤を処方され、全身に朝晩塗布していました。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	全身へのステロイド外用を 10 年間続けました。
中止時期	52 歳時に別医療機関の指示で完全に中止しました。松本医院受診時はその約 12 年後です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。松本医院受診後のステロイド使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
42 歳頃	発症	左肩に 2～3 個の湿疹が出て、市販薬で一旦落ち着いても再び出ることを繰り返しました。
42～52 歳頃	長期ステロイド期	数多くの皮膚科等を受診し、ステロイド剤を処方されました。朝晩、全身に塗る生活を 10 年間続けました。
52 歳頃	脱ステロイド	別医療機関でステロイドを完全に中止し、漢方や入浴、瀉血・鍼を含む治療を受けました。強いリバウンドとの戦いを経て、約 1 年半後にステロイドを抜いた経過があります。
その後 12 年	限定的な再燃	両肘内側、首から両肩、両手のひらや甲に、季節ごとに限定的な症状が出るがありました。
前年初秋～2014 年春	再悪化	両手のひらと甲にアトピー症状が出て、暖かくなっても勢いが増しました。漢方と瀉血を試しても悪化が続きしました。
2014 年 5 月 20 日	松本医院初診	2 種類の外用薬と漢方煎じ薬を処方されました。
治療開始 2 か月 5 日	経過時点	左手は症状が目立たない状態になり、右手もほぼ落ち着き、治療の区切りが近い状態でした。

4. ピーク時期

ピークは、52 歳時のステロイド中止後に経験した強いリバウンド期と、2014 年の松本医院受診前に両手のひらと甲の症状が悪化した時期です。松本医院受診後は、2 か月 5 日時点で手の症状が大きく落ち着いた経過です。

5. 患者さん・家族の困りごと

- ・ 42 歳から 52 歳まで、全身にステロイドを塗る生活が続きました。
- ・ 52 歳時の脱ステロイドでは、約 1 年半にわたり強いリバウンドを経験しました。
- ・ 65 歳時には両手のひらと甲の症状が悪化し、生活上使う頻度の高い手の治療が課題となりました。

6. 経過のまとめ

2014 年 5 月 20 日に松本医院を受診し、2 種類の外用薬と漢方煎じ薬を使用しました。2 か月 5 日時点では、左手は症状が目立たない状態、右手もほぼ落ち着いた状態になりました。

長期ステロイド使用後、別治療での脱ステロイドを経た後も手の症状が再燃しましたが、2 か月 5 日時点では左手は症状が目立たない状態、右手もほぼ落ち着いた状態になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。